

ライフケアガーデン湘南 特定施設3F

症例概要 利用者氏名：T様（80代 男性 要介護度3） 自宅にて2人暮らし
利用期間：2020年11月～2021年5月現在
主疾患：糖尿病・パーキンソン病・肺癌・心房細動・大腸癌・高血圧

経過：要介護3でご入居。多職種連携で自立支援。ご本人の遣り甲斐や楽しみを見つけ、短期間で自立に近い生活が出来るようになった事例（介護保険区分変更申請中）

内 容

2020年7月ご自宅にて起きられない、歩行能力が困難。排泄も失禁されることが多くなる。

9月に食事中むせ込みが見られ倦怠感と咳がひどく、移動困難となりY病院に緊急入院されパーキンソン病の悪化、誤嚥性肺炎と診断される。退院後は在宅生活が困難であるため11月に当ホームに入居となる。

入居当初は、車いすで移動介助、一部介助見守り、転倒リスクあるため体動センサーを設置しセンサー反応にてトイレ誘導等行う。食事は主食お粥、副菜ミキサー食、水分はトロミを使用される。

12月中旬、担当リハスタッフより、居室からデイルームまでスタッフ見守りにて車椅子駆動自操可となる。ご本人の意欲も向上し、車いすの操作も慣れてきているとの報告を受ける。

ご本人が自信に繋がるようスタッフ間で声掛けやケアの統一を図り、車椅子自操自立となる。

1月に入り、リハビリスタッフよりサークル歩行器にて歩行訓練の実施。歩行でデイルームまで歩けるようになる。また、居室内でフリーで過ごせるようになり、レクリエーションにも参加され、囲碁仲間もでき楽しみや喜びを感じるようになる。

3月には、嚥下機能改善にむけて、STが毎週に1回リハビリ目的で介入するようになり、

全粥・ミキサー食からお粥・キザミ食に変更。

4月には、主食やわかご飯・副食一口大に変更。副食は歯の痛みがあることから刻みで提供（歯科にて調整中）むせこみなど無く、ご飯が美味しく感じると言葉をいただく。

入浴は、入居当初から機械浴にて半介助にて入られていましたが、現在は立位も可能となり、個浴で

檜のお風呂に見守り・一部介助で入れるようになる。

排泄は、リハビリパンツを使用されていたが、ADLの向上が見られ失禁もなく布パンツを使用。

入居から6ヶ月、確実にADLがアップされたのは、ご本人の前向きな性格や努力があり、介護・看護スタッフやリハビリスタッフによる声掛けや、その人らしく楽しい生活が過ごせるようなケアを提供できたからだと思います。

今は、杖など使用せず普通に歩かれるまでになりました。ゆっくり確実にリハビリを重ねていき「いつかは自由に歩いて、娘がいる家に帰りたい」と夢を話して下さいました。これからも、心が豊かに暮らしていけるようワンチームで関わり支援させて頂きたいと思っています。